

# 妙興寺を体感する



名鉄本線妙興寺駅の東側に見える深い森の中に、正式名称を**妙興報恩禪寺**という、鎌倉時代に創建された臨済宗妙心寺派の寺院があります。

妙興寺は、室町幕府から手厚く保護を受け、足利2代将軍義詮(よしあきら)からは五山制度の諸山と同格に列せられ、尾張の国隋一の巨刹となりました。

幾度かの災害により、多くの建造物が失われましたが、現在も、国指定重要文化財の勅使門は創建当初の遺構を残しており、文和2年(1353)に後光厳天皇より賜わった勅額「国中無双禅刹」も掛っています。また釈迦三尊像が祀ってある仏殿や、安土桃山時代様式を保つ鐘撞堂などが立ち並び、落ち着いた雰囲気の内自体が県指定史跡になっています。

この名刹妙興寺にはまた、愛知県下でも数少ない修行の場としての道場があり、そこでは雲水たちが、昔ながらの戒律に沿って日々修行を重ねています。

この修行の場は、一般公開はしていないのですが、今回は特別に中に入らせていただきます。

奥には京都の名刹にも劣らない建物の数々が建ち並んでおり、その中で雲水たちが、鐘など様々な鳴り物の音に沿って、朝まだ暗いうちから起き、まきを使ってご飯を炊き、作法にそっていただいたり、掃除をしたり、坐禅を組んだりという生活をしているのです。

この講座では、坐禅体験をしたり、老师様からお話を聞いたり、そして庫裏や禅堂などの修行の場やお庭の見学をさせていただくことにより、今もなお、禅の精神が生きている妙興寺を体感し、あらためて妙興寺のすばらしさを、参加したみなさんに知ってもらいたいと思っています。

## ◆いちのみや大学講座「妙興寺を体感する」

- **日時:** 4月11日(日)午後1:30~4:00
- **場所:** 妙興寺 一宮市大和町妙興寺 2438 (Tel:0586-45-1973)  
名鉄本線妙興寺駅下車 南東へ 駐車場 50台ぐらい

- **会費:** 1500円(お抹茶付) ・**定員:** 40名
- **申し込み:** ホームページから <http://ichinomiyadaigaku.com/>  
インターネットをご利用でない方は、  
メールまたは、電話・FAX(0586-72-5445)でも受け付けいたします。(電話は平日10:00~17:00)  
**申し込み締切り**は開催日前日まで。キャンセルの場合も前日までをお願いします。



携帯の方は  
QRコードもご利用  
できます。

※お問い合わせは、

有限会社人の森気付け いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445  
メール: info@ichinomiyadaigaku.com までお願いします。

いちのみや大学

検索 

## 申し込み用紙

参加者氏名	1.	2.	3.
電話番号、 できれば携帯番号も(当日連絡用)			
Fax(あれば)			
メールアドレス			
希望されますと、いちのみや大学の情報をメールでご案内いたします。	希望する	希望しない	

# いちのみや大学ってどんなもの？

## ◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくろうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も 38 万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

## ◆参加方法

参加方法としては、あらかじめ、いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiyaigaiku.com/> の学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

(インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合は、電話、fax、メールなどでも受付しています。)

受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報のページをご覧ください。

## ◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)  
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)  
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)  
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場 (会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
- ・歴史学部 古文書からわかる江戸時代の一宮の村社会 (会場:スポ文)

## ◆これからの講座

- ・歴史学部 2010/3/31(水)am10:00～ のごぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策  
(会場:葛利毛織)
- 4/11(日)pm13:30～ 妙興寺を体感する(会場:妙興寺)



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局 (有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 アートメゾン 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiyaigaiku.com